

マルチと植物成長調整剤による 「土佐文旦」の高品質化

表 マルチの有無とフィガロン乳剤の散布が「土佐文旦」の果実品質に及ぼす影響 (2009～2012年の平均)

処 理		果実重 (g)	糖度計 示度	クエン酸含量 (g/100g)	着色歩合	色彩色差計値 (ハンター a 値)
マルチ	フィガロン乳剤					
○	○	565	11.4	1.24	9.1	-4.0
○	×	585	10.9	1.20	8.7	-4.4
×	○	579	10.8	1.17	9.2	-5.1
×	×	574	10.4	1.18	8.8	-5.3

注 1) 12月上旬に採取した果実の分析値を使用。
 2) フィガロン乳剤の希釈倍率は1,000倍、散布時期は満開80、110日後の2回。マルチは満開100日後に設置。
 3) 着色歩合は、0～10の11段階評価を目で見て評価し、数値が大きいほど良い。
 4) 色彩色差計値(ハンターa値)は、緑→赤方向の色彩を色差計で測定したもので、数値が大きいほど赤が強く良い。

「土佐文旦」の平坦地における栽培では、マルチで糖度を向上させる技術が確立されています。一方、フィガロン乳剤は、かんぎつの夏秋梢伸長抑制と熟期促進で登録があり、ウンシュウミカンでは糖度の向上効果も認められていますが、「土佐文旦」への効果は明らかではありません。そこで、フィガロン乳剤の適応性およびマルチとの併用について検討しました。

その結果、フィガロン乳剤の散布時期は満開80日後と110日後の2回が適当(データ省略)で、1,000倍液のフィガロン乳剤単用で糖度が0.4程度、マルチとの併用で1.0程度上昇し、果皮の着色が良好になる等、熟期促進効果が確認できました(表)。マルチとフィガロン乳剤の併用処理4年目まで、平均果実重、収量、樹勢にほとんど影響はみられ



写真 マルチの設置状況

ていません(データ省略)。

今後は、フィガロン乳剤の希釈倍率およびマルチやフィガロン乳剤の長期連年処理による果実品質や樹勢への影響を検討します。

(果樹試験場 栽培育種担当)

澤田定広 088-844-1120)

高知県農業技術センターニュース 第73号 平成25年10月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 岩崎 昭雄

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝 1100
 TEL (088) 863-4912
 FAX (088) 863-4913

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

農業技術センター山間試験室

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王 3523-7
 TEL (0887) 72-0058
 FAX (0887) 72-1544

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁 268
 TEL (088) 844-1120
 FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801 吾川郡仁淀川町森 2792
 TEL (0889) 32-1024
 FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>